



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日  
上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社  
 コード番号 4574 URL <https://www.seirogan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 高  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部 経理部長 (氏名) 中條 亨 MAIL [ir@seirogan.co.jp](mailto:ir@seirogan.co.jp)  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	916	△20.4	△98	—	△93	—	△95	—
2025年12月期第1四半期	1,150	△16.5	44	△79.5	11	△95.1	292	△38.1

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 △87百万円 (—%) 2025年12月期第1四半期 15百万円 (△97.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△1.89	—
2025年12月期第1四半期	5.83	—

- (注) 1. 2025年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 2026年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	11,325	8,264	73.0
2025年12月期	12,270	8,518	69.4

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 8,264百万円 2025年12月期 8,518百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	3.30	3.30
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	12.5	500	8.9	520	7.7	550	△40.4	10.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 1 Q	50,636,900株	2025年12月期	50,636,900株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	385,713株	2025年12月期	385,713株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 1 Q	50,251,187株	2025年12月期 1 Q	50,193,711株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直しの動き等により、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中東情勢の影響や米国の通商政策をめぐる動向、継続的な物価の上昇による消費の減速懸念、金融資本市場の変動の影響等、依然として景気の見通しは不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは中期経営計画（2026年-2028年）の初年度として、「医薬品事業への投資集中」等の重点施策を推進してまいりました。医薬品事業においては、供給課題が継続している「正露丸」について、下期以降のリードタイム短縮、生産性の改善に向けて設備更新等の準備を進めてまいりました。また、販売面では前年よりも広告宣伝費を増額する方針に基づき、夏の需要期に向けたマーケティング施策の計画に取り組みました。感染管理事業では、着実な黒字化に向けて収益改善を継続するとともに、業務用領域における増収を目指し営業活動を進めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、前年同期比20.4%減の916百万円となりました。売上総利益につきましては、医薬品事業における供給体制強化に関わるコストの増加等により前年同期比26.3%減の500百万円となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、主に感染管理事業における広告宣伝費の減少等により前年同期比5.7%減の598百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業損失は98百万円（前年同期は44百万円の営業利益）、経常損失は93百万円（前年同期は11百万円の経常利益）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失につきましては、95百万円（前年同期は292百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の経営成績につきましては、以下のとおりであります。

## (医薬品事業)

医薬品事業につきましては、国内市場における市場規模が前年同期比で94.0%と低調に推移しました。「正露丸」の供給不足や、競合他社製品の供給再開、インバウンド需要の減少など複合的な要因により全般的に売上は伸び悩みました。

この結果、国内向けの医薬品売上高につきましては、前年同期比で27.0%減の659百万円となりました。また、海外向けにつきましては、香港市場や台湾市場への出荷数量増加により前年同期比130.6%増の198百万円となりました。

これらの結果、医薬品事業につきましては、前年同期比13.2%減の858百万円の売上高となりました。また、セグメント利益につきましては、前年同期比で49.0%減少し160百万円となりました。

## ・外部顧客への売上高の内訳（医薬品事業）

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
国内	903	659
海外	86	198
合計	989	858

(感染管理事業)

感染管理事業につきましては、効果的なマーケティング費用の投下等コストコントロールに努め、収益性の改善に取り組んでまいりました。前年同期はインフルエンザ流行の影響により需要が高かったものの、当第1四半期連結累計期間においてはその影響がなく、売上は前年同期比で減少いたしました。

これらの結果、売上高は前年同期比64.6%減の56百万円となりました。また、セグメント損失につきましては、主に広告宣伝費の減少等により、前年同期比で21百万円改善し41百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳 (感染管理事業)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
国内：一般用	96	10
国内：業務用	50	39
海外	13	6
合計	160	56

(その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は1百万円、セグメント損失につきましては5百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は11,325百万円(前連結会計年度末比945百万円減)となりました。また、負債合計は3,060百万円(同692百万円減)、純資産合計は8,264百万円(同253百万円減)となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、現金及び預金の減少等による流動資産964百万円の減少、1年内返済予定の長期借入金の返済や賞与引当金の減少等による流動負債704百万円の減少、配当金の支払いや親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等による純資産253百万円の減少等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中東情勢の影響により、資材価格の高騰や調達遅延に伴う生産への影響が生じる可能性があるものの、見通しは不透明な状況であります。現時点において十分な判断材料が得られていないことから、連結業績予想につきましては、2026年2月13日に公表いたしました予想値から変更はありません。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,256	3,332
電子記録債権	1	2
売掛金	2,449	1,533
有価証券	—	500
商品及び製品	309	567
仕掛品	801	848
原材料及び貯蔵品	508	515
その他	106	169
流動資産合計	8,433	7,469
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	898	873
機械装置及び運搬具(純額)	545	528
土地	1,675	1,675
建設仮勘定	45	49
その他(純額)	145	203
有形固定資産合計	3,312	3,331
無形固定資産	34	32
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
その他	490	492
投資その他の資産合計	490	492
固定資産合計	3,837	3,856
資産合計	12,270	11,325

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
電子記録債務	154	101
買掛金	268	298
1年内返済予定の長期借入金	792	421
未払金	668	688
未払法人税等	15	13
返金負債	60	52
賞与引当金	247	59
転貸損失引当金	11	11
その他	290	157
流動負債合計	2,509	1,805
固定負債		
長期未払金	549	549
転貸損失引当金	4	1
退職給付に係る負債	623	624
資産除去債務	20	20
その他	43	58
固定負債合計	1,242	1,255
負債合計	3,752	3,060
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10	10
資本剰余金	4,978	4,978
利益剰余金	3,450	3,189
自己株式	△237	△237
株主資本合計	8,200	7,939
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	317	324
その他の包括利益累計額合計	317	324
純資産合計	8,518	8,264
負債純資産合計	12,270	11,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,150	916
売上原価	471	415
売上総利益	679	500
販売費及び一般管理費	634	598
営業利益又は営業損失(△)	44	△98
営業外収益		
受取利息	4	9
その他	0	0
営業外収益合計	5	10
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	32	4
その他	4	0
営業外費用合計	38	5
経常利益又は経常損失(△)	11	△93
特別利益		
投資有価証券売却益	347	—
受取補償金	10	—
特別利益合計	357	—
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	368	△94
法人税、住民税及び事業税	6	6
法人税等調整額	70	△5
法人税等合計	76	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	292	△95
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	292	△95

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	292	△95
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△234	—
為替換算調整勘定	△42	7
その他の包括利益合計	△277	7
四半期包括利益	15	△87
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15	△87

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自2025年1月1日至2025年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	989	160	1	1,150	—	1,150
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	989	160	1	1,150	—	1,150
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	314	△62	△5	246	△202	44

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2026年1月1日至2026年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	858	56	1	916	—	916
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	858	56	1	916	—	916
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	160	△41	△5	113	△211	△98

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年3月27日開催の第80回定時株主総会の決議により、2026年3月30日付で別途積立金7,860百万円を取崩し繰越利益剰余金に振替えております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
減価償却費	60百万円	73百万円